



地域の人たちとともに、この町の伝統を未来へつないでいきたいんです。

新山直広さん(TSUGI代表) × 地場伝統産業

漆 器や眼鏡などの産業が古くから栄えたものづくりの町、福井県鯖江市河和田地区。この町に、大阪から移住した6人の若者を中心に地場産業を盛り立てている企業TSUGI(ツギ)がある。「この社名には、“次”の世代が伝統を“継ぎ”、新しい発想や視点を“注ぐ”ことで、新たな関係を“接ぐ”という思いが込められています」。そう語るのは、代表の新山直広さん。「この地域にはよいものをつくる技術があります。それを受け継いでいくために、現代にフィットした商品やその魅力の伝え方、売り方が必要なのではないかと考えたんです」。地域の企業や商品のロゴマーク、パッケージや販促ツールのデザイン制作を担うだけではなく、流通のノウハウを学ぶために立ち上げた自社アクセサリーブランドの

展開、地場産業振興イベントの企画・運営、地域の職人に向けた販売戦略の講義など、その活動は多岐にわたっている。

新山さんが河和田地区と出会ったのは大学時代。地区で行われているイベント、河和田アートキャンプに参加したことだった。「人生を変える大きな体験でした。これからの地域のあり方や地域の産業の未来を、ここで学びたいと思ったんです」。大学を卒業して河和田地区に移住したのが2009年。新山さんに続くように大学の仲間が次々と移住し、前身となるサークル活動を経て2015年4月に同会社ツギが発足した。

今では河和田地区の人口の約1%が移住者だという。若い移住者が増えるに従い、地域の意識も少しずつ変わってきたのではないかと新山さん



は感じている。「未来に向けて主体的に考え、行動する地元の方々が増えてきました。ツギの目標は『創造的な産地をつくること』。地元の方々と一緒に、この町のものづくりを未来につなげていきたいと思っています」。

「今が人生でいちばん楽しい」と笑顔で語る新山さんは、その情熱が地域の「次」の時代を拓いていく。

北陸の多彩な伝統産業をこれからもずっと受け継いでいってほしい。



さまざまな伝統産業を育んできた北陸は、日本の文化の一端を背負っていると思います。

親 交の深い方々が北陸に住んでいたこともあり、富山・石川・福井にはこれまで何度も訪れてきました。もう30年ほど前になりますが、油絵の講師として金沢に毎月通っていたことがあります。四季を通じて北陸へ赴き感じたのは、日本海の美しさ。特に淡々としているようで力強い富山の海岸の風景が印象深いですね。いちばん好きな季節を挙げるとすれば、やはり冬です。海の幸をはじめ、おいしい物がたくさんありますから。以前は飛行機で通っていたため、雪の日には無事に発着するかハラハラしたものですが、それもよい思い出です。しばらく北陸を訪れていないので、今度はぜひ北陸新幹線で行きたいものです。

受け継がれた伝統産業を守っていこうといつてほしいですね。

北陸の気風もすばらしいと思います。私は「文房四宝」という会で、広島県熊野町の筆、三重県鈴鹿市の墨、鳥取県鳥取市の和紙、宮城県石巻市の硯といった地域の伝統産業を振興する活動にも取り組んでいます。北陸にもこの土地の風土が育てた工芸が数多くあり、現代まで脈々と継承されています。北陸は、日本の伝統文化の一端を担ってきた地域と言えるでしょう。

伝統産業の後継者不足が叫ばれて久しいですが、一方で地域の伝統を活かして新しいものを生み出そうとがんばる若い人が全国的に増えていると感じます。北陸にもそのような志を持つ若い方がたくさんいると聞き、大変喜ばしいことだと思いました。ぜひこの豊かな文化を受け継いでいってほしいですね。



「地域」という視点を大切にして未来を考える。この流れはますます強くなっていくのではないかでしょうか。それはエネルギーも同じです。北陸に根ざした独自のエネルギーのあり方を考えてもよいと思いますし、賛成・反対だけではなく、どうすればよりよい形にできるのかを模索することが必要だと考えています。それが、地域とその未来を考えることだと思うのです。

石坂さんのさらなる魅力は
えるふぶらざNet
www.elfplaza.jp



合同会社ツギ
代表・デザインディレクター
新山 直広 さん
福井県鯖江市河和田町19-8

クリエイティブカンパニーTSUGI代表。2013年TSUGIを結成、2015年法人化。眼鏡の材料や曲げ加工技術を活かして立ち上げたアクセサリーブランド「Sur」の展開、ものづくり体験型マーケット「RENEW」の企画・運営など、多彩な活動に取り組む。第2回目となる今年の「RENEW」は10月15日(土)・16日(日)に鯖江市河和田地区で開催予定。



俳優・タレント
石坂 浩二 さん

1941年東京都生まれ。慶應義塾大学在学中にテレビドラマでデビュー、卒業後劇団四季に入団。俳優として数々のドラマ・映画・CMに出演しているほか、作家・司会者・ナレーター・クイズ番組解答者など幅広い分野で活躍している。主演となる倉本聰氏脚本のテレビドラマ「やすらぎの郷」が2017年春放映予定。